

会 議 録

1 開催した会議の名称：令和 7 年度第 1 回佐賀県循環器病対策推進協議会

2 開催日時：令和 8 年 2 月 12 日（木）19 時 00 分から 20 時 30 分まで

3 開催場所：佐賀県庁旧館 4 階 正庁

4 出席者：

【委員（19 名）】○：会長

古賀 真 佐賀県歯科医師会理事

野口 敬介 佐賀県薬剤師会副会長

藤満 幸子 佐賀県看護協会会長

片渕 宏輔 佐賀県リハビリテーション 3 団体協議会会長

江頭 あずさ 佐賀県栄養士会副会長

野出 孝一 佐賀大学学長

阿部 竜也（矢島 あゆむ） 佐賀大学医学部脳神経外科教授（代理出席）

原 めぐみ 佐賀大学医学部医学科社会医学講座予防医学分野准教授

浅見 豊子（村田 和樹） 佐賀大学医学部附属病院リハビリテーション科診療教授（代理出席）

枝國 源一郎（水町 寿伸） 佐賀県健康づくり財団副理事長（代理出席）

溝上 泰一朗 佐賀県病院協会副会長

山本 邦尚 佐賀県国民健康保険団体連合会事務局長

高塚 英樹 佐賀県介護保険事業連合会副会長

江口 利信 佐賀県医療ソーシャルワーカー協会委員

正林 美和子 患者家族

篠原 素子 日本心臓ペースメーカー友の会佐賀県支部

村上 正（青木 謙一郎） 佐賀県消防長会会長（代理出席）

迎 義則 佐賀県労働局地方労働衛生専門官

○野田 広 佐賀県医療統括監

（順不同・敬称略）

【関係課（8 名）】

健康福祉政策課、医務課、国民健康保険課、長寿社会課、障害福祉課、こども家庭課、消防保安室、保健体育課

【事務局（5 名）】

【傍聴者（0名）】

5 議題：

- (1) 第2期循環器病対策推進基本計画（国）の取組状況について
 - ・コア指標の選定及び今後の中間評価の進め方について
- (2) 第2期佐賀県循環器病対策推進計画の取組状況について
 - ・ロジックモデルの更新状況
 - ・佐賀県脳卒中・心臓病等総合支援センターの運営状況
 - ・自分の血圧を知らない高校生 ZERO 事業の取組状況
 - ・各関係課の取組状況及び各団体の取組状況
- (3) その他
 - ・脳卒中・心臓病等総合支援センターの整備指針（案）について

6 会議録

議事 議事進行…○：野田会長、発言者…●：委員、□：委員以外、△：事務局

- (1) 第2期循環器病対策推進基本計画（国）の取組状況について
 - ・コア指標の選定及び今後の中間評価の進め方について

【意見】

意見なし

- (2) 第2期佐賀県循環器病対策推進計画の取組状況について
 - ・ロジックモデルの更新状況

【意見】

- （片渕委員）：ロジックモデルのリハビリテーションが実施可能な医療機関数はどのように算定されたのか。
- △（事務局）：県医務課が実施する医療連携体制に関するアンケートの調査結果をもとに算定している。
- （原委員）：県のロジックモデルでは「収縮期血圧有所見者割合（140mmHg 以上）」及び「拡張期血圧有所見者割合（90mmHg 以上）」が指標として採用されているが、国の中間評価に向けたコア指標の案では「特定検診受診者の収縮期血圧 130mmHg の割合および拡張期血圧 80mmHg 以上の割合」が採用されている。県の中間評価においては国にあわせて数値を変更するという理解でよいか。
- △（事務局）：部会で検討を予定している。

- ・佐賀県脳卒中・心臓病等総合支援センターの運営状況

【意見】

- （溝上委員）：患者の就労支援について、佐賀県脳卒中・心臓病等総合支援センターではどのような取組を行っているか。
- （矢島医局長）：就労支援について相談があった場合には個別に対応しているが、今後、ハローワークとの連携についても検討していきたい。
- （江口委員）：患者が辞職することなく仕事と治療との両立を支援するため、患者、病院、事業所が連携して行うトライアングル事業に取り組んでいきたい。

・自分の血圧を知らない高校生 ZERO 事業の取組状況

【意見】

- △（事務局）：学校教員においてもまだ血圧に対する理解は十分でなく、また、若年層が自身で食事管理をすることは難しく、親や学校教員への協力も必要と考える。今後は普及啓発の対象を親や学校教員へ拡大することで若年層の意識がより高まるのではないかと考える。
- （野出委員）：親は子どもの血圧に関心があり、高血圧はある程度体質も関係するため、子どもが血圧を測定することが家族内で血圧への関心が高まる契機となりうる。また、学校教員への普及啓発については教材用の動画を活用すればよいと考える。

・各関係課の取組状況及び各団体の取組状況

【意見】

意見なし

以上